

# No2. 子どもに寄り添いながら ~多様なアプローチの試み~

仔鹿園 貝田智子

仔鹿園では「ポータルプログラム」のチェックリストを使って子ども達の発達段階を把握し、個別支援計画や課題目標を設定する目安としています。このチェックリストは5領域(社会性・言語・身辺自立・認知・運動)に分かれた多量の項目があり、その範囲が広い為課題を設定するにあたって絞りにくかったり、仔鹿園の子どもの中でも割合の多い自閉症スペクトラム児の特性には合いにくいものや課題達成する事が難しいものが多いとの意見がありました。そこで、このチェックリストに加えて仔鹿園の子どもに合うアセスメントシートを作成する事になりました。

## ◎必要と思われる項目を抽出する

「発達障害者支援センターでいあー」の協力を得て、他のアセスメントシートを参考にしながら、項目の見直しをする

(例)身辺自立

領域	内容	項目
身辺自立	食事	手掴みで食べない
		スプーン、フォークで食べる
		箸を使って食べる
		適切な時間に食べ終わる
		床に落ちた物を食べない
		人の物を取って食べない
		こぼさないで食べる
排泄		定時の誘いかけで小便をする
		定時の誘いかけで大便をする
		排便した後で知らせる(声)

項目を絞る

大事な項目のみ

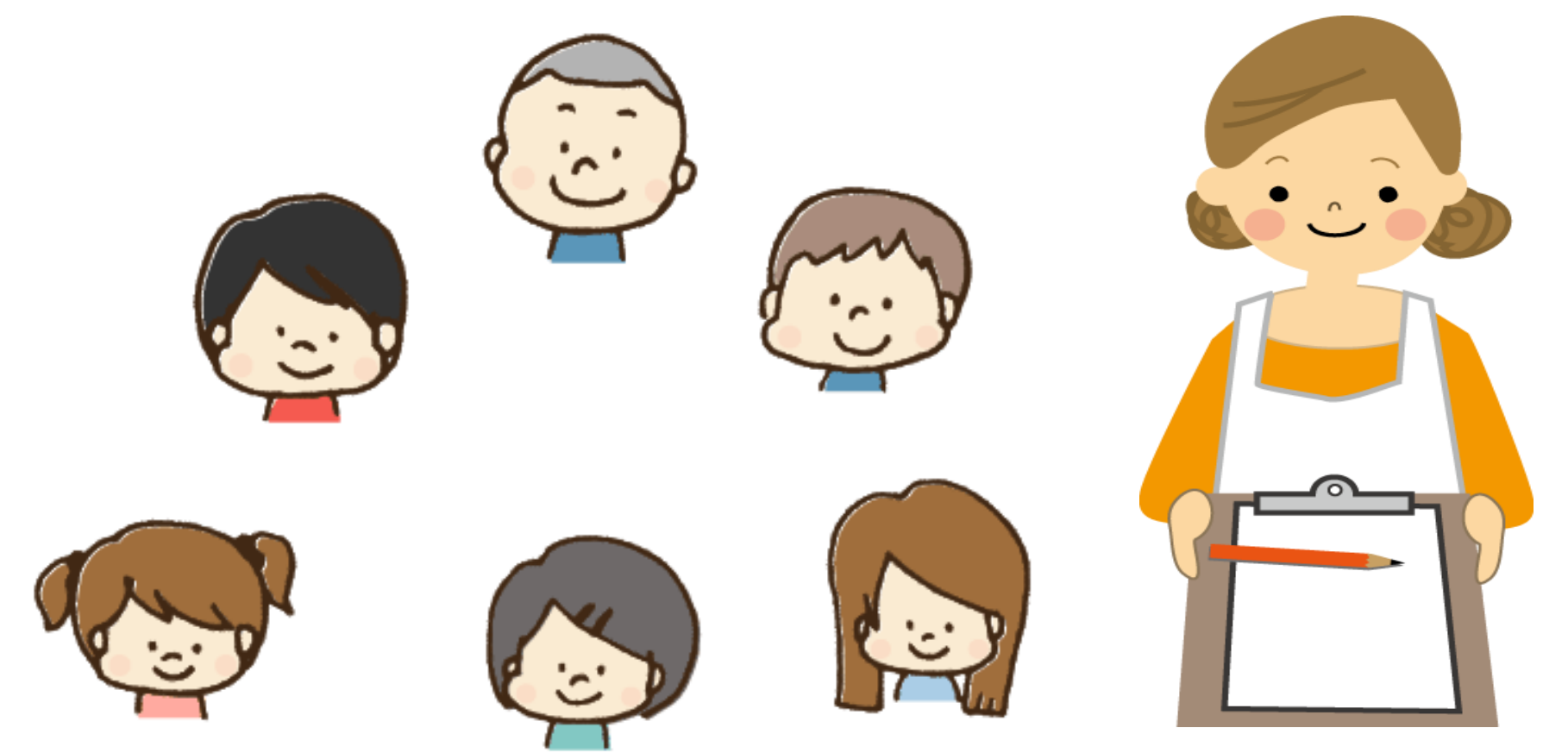
仔鹿園の子どもに合わせる

## ◎自閉症の特性に関する項目を入れる

- ・コミュニケーションの取り方
- ・感覚過敏の有無など

## ◎作成したアセスメントシート(案)を試してみる

- ・年長組で発達段階の異なる6名の児を対象に実施



## 評価の仕方は○△×で記入

△→もう少しで達成できる目標!  
△の項目から課題を抽出し、更に課題分析してその子に合わせた目標を設定する(半期に1回振り返り)

気付いた事

### <良かった点>

- ◎子どもの発達の状況が一目で分かりやすく、全体像が掴める。
- ◎次年度の引継ぎの際にも使用出来る。
- ◎個別支援計画の課題と連動出来る。

### <課題点>

- ★評価の基準が曖昧
- ★ポータルチェックリストとの違いを明確にしたい
- ★もっと身辺自立面を詳しく知りたい
- ★評価の表記を保護者の気持ちに寄り添う

### <改善策>

達成基準を統一する為に、全ての項目に細かい達成基準をつくる

身辺自立のチェック項目を細かくし、更に園の子どもに特化したアセスメントシートにする

出来ない部分は×をつけずに空欄にし、もう少しで出来る項目に△、達成出来ている項目に○をつける

### <現在の経過>

- ★身辺自立の項目を増やすなど、再度項目を見直す
- ★達成基準表を作成
- ★肢体不自由の子どもや並行通園の子ども対象のアセスメントシートの作成も検討

R4年度4月より  
実施できるよう  
制作中